

「比例代表選挙」を「主舞台」に 「共産党」と書いてもらう支持拡大の徹底を

党大阪府委員会がアピールを発表

党大阪府委員会総選挙闘争本部は 24 日、『比例代表選挙』を『主舞台』に——これを貫いた構えと活動を」とのアピールを発表。28 回党大会を指針に、大阪での比例 80 万票（近畿では 180 万票、20%以上）、近畿ブロックでの 2 から 4 議席への躍進へ、「比例を軸に」した構えと活動を強く呼びかけています。

実践的には『日本共産党』と書いてもらう比例代表の支持拡大」を徹底し、それがどこまですすんでいるかを情勢判断の柱として対策をとりきることだとして、府委員会で作成した宣伝物も活用して「担い手」を広げる「折り入って作戦」や党员・読者拡大を呼びかけています。

アピール全文は、党府委員会ホームページに掲載されています。

「比例は共産党」の訴えを広げようと議論——大阪・木津川南地区

木津川南地区常任委員会は、総選挙に向けた取り組みが「比例」を主戦場にしたものになっているかと議論。

地区が責任をもつ大阪 3 区の「比例」目標は 5 万 2 千票。党の衆院議席 12 のうち 11 人が「比例」当選で小選挙区は沖縄 1 区の 1 人。14 年選挙では 21 議席のうち 20 が「比例」で獲得した議席。議席を獲得するのも、伸ばすのも「比例」であり、まさに主戦場です。

「かつては『こんにちは日本共産党です』リーフを手にもみんなが党のことを語った。その時は比例票が大きく伸びた。その時を思い返さないと」

「民商会員を訪問する中で、会員さんから維新について、候補者名よりも『維新はがんばっている』と党名で話題になる。しかし共産党は候補者が話題に上がっても党名が出てこない。もっと自分たちが主体的に党を語っていく必要がある」

「中選挙区の名残で候補者中心の意識がある。共産党のわたなべさんだから応援するという人を増やさないと」など議論に。地区常任委員会は、すべての支部が「比例」の得票目標の実現へ、「だから私は共産党」「私が共産党を推す理由」を語ろう、「比例」を伸ばしてこそ選挙区でわたなべ候補も勝利できる、比例で近畿 4 議席を必ずかちとろうと呼びかけています。（地区ニュースより）



各所で、手を振ってくれる人、遠くからじっと聞いてくれる方、信号待ちで信号が変わってもずっと止まって聞きいる人、車から会釈や手振り、クラクションなどの激励が相次ぎました。

激励相次ぐ 兵庫・比例キャラバン こむら候補

こむら潤候補は、兵庫県内での比例キャラバンを再開しています。今年から始めた 1 次、2 次キャラバンで、全県の合併前の旧自治体をほぼ一回りし、今度の 3 次キャラバンでは小選挙区候補を立てない選挙区を優先しつつ全県を回る計画です。

16 日には姫路市を出発して太子町、たつの市、相生市、赤穂市を、21 日は三田市を、23 日は稲美町、播磨町、高砂市、加古川市を駆け巡りました。

各所で、手を振

21 近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 43(2021.8.25)